



朴 相俊 Sangjun PARK

職名 准教授

担当科目

学部:統計分析法、情報管理法、健康管理と生活習慣、運動と健康
大学院:看護情報・分析、看護研究法

学歴

埼玉大学 教育学部 健康スポーツコース 卒業
東京大学大学院 教育学研究科 身体教育学コース 修士課程修了
東京大学大学院 教育学研究科 身体教育学コース 博士課程単位取得満期退学

学位

修士(身体教育学)、博士(環境共生学)

主な職歴

公益財団法人身体教育医学研究所 研究部長
佐久大学 准教授

研究分野／

Key word

精神保健(自殺予防のためのゲートキーパー教育の効果、ストレスチェック後の集団データの活用方法)
介護予防(ソーシャル・キャピタルと地域づくり)

主要著書・

学術論文

著書

1. 心のセルフケアのためのノート『おかえりこころ』。©朴相俊、PO 印刷、長野、2017。

論文

1. Park SJ, Imamura H, Soyano A, et al(2019). Relationship between healthy elderly individual social capital and health according to ward level in Tomi City, Nagano Prefecture: an ecological study, J Rural Med 14(1) *In press*.
2. 朴相俊, 征矢野あや子, 堀内ふき, 川崎美絵子, 伊藤浩志(2019). 長野県茅野市における介護予防事業推進に向けての関連要因に関する実態調査—元気高齢者の生活機能状態とソーシャル・キャピタルの関連—. 佐久大学看護研究雑誌 11(1): 11-20.
3. 朴相俊(2019). ヒューマンケアの土台をつくる基盤教育の重要性—基盤教育で豊かな人間力を育てる—. 佐久大学看護研究雑誌 11(1): 3.
4. 牧知秀, 牧佳代子, 小峯秋二, 片岡淳, 篠原秀典, 山口大地, 朴相俊, 他(2018). ソフトテニスのグラウンドストロークにおける新測定法の検討—全国大会出場レベルの高校チームを対象として—. 愛知学泉大学現代マネジメント学部紀要 6, 21-32.
5. 朴相俊, 岡田真平(2018). 長野県東御市における心の健康状態及び自殺念慮の要因に関する実態調査—ソーシャル・キャピタル指標との関連性を考える—. 自殺予防と危機介入 38(1): 1-12.
6. 朴相俊, 岡田真平(2017). 長野県東御市における心の健康状態及び自殺念慮の要因に関する実態調査. 信州公衆衛生雑誌 11(2): 107-117.
7. Park SJ, Okada S, Soyano A, et al(2017). Effects of a Gatekeeper Training for Suicide Prevention in Changing of Cognitive Social capital of Participant, ストレス科学 31(3): 237-244.
8. 朴相俊, 征矢野あや子, 今村晴彦他(2016). ゲートキーパー教育が参加者の自殺予防活動への意識変化、態度変化及び行動変化に与える影響について—Focus Group Interview 法を用いた質的研究—. 自殺予防と危機介入 36(3): 51-61.
9. Kamioka H, Tsutani K, Park SJ, et al(2016). Effectiveness of Pilates exercise: A quality evaluation and summary of systematic reviews based on randomized controlled trials. Complement Ther Med 25:1-19.
10. 朴相俊, 渡邊直樹, Erminia Colluci 他(2014). 地域高齢者が日常で感じる「安心要因, 不安要因及び解決法」に関する探索的研究—自殺の多い北東北地方の高自殺率地区高齢者への訪

問調査から～. 身体教育医学研究 15(1): 7-14.

11. 朴相俊, 岡田真平, 征矢野あや子他(2014). 長野県東御市の中年女性のストレス要因、対処法及びソーシャル・サポートに関する探索的研究;保健指導員を対象としたフォーカスグループインタビュー. 自殺予防と危機介入 34(1): 1-11.
12. Kamioka H, Tsutani K, Park SJ, et al(2014). Effectiveness of music therapy: a summary of systematic reviews based on randomized controlled trials of music interventions. Patient Preference Adherence 8: 727-754.
13. Kamioka H, Tsutani K, Park SJ, et al(2014). Effectiveness of horticultural therapy: A systematic review of randomized controlled trials. Complement Ther Med 22(5): 930-943.
14. 朴相俊(2014). 自殺ゼロの地域を目指して～次世代の心の健康を守る～. 老年社会科学 35(4): 472-477.
15. Kamioka H, Okada S, Park SJ, et al(2014). Effectiveness of animal-assisted therapy: A systematic review of randomized controlled trials. Complement Ther Med 22(2): 371-390.
16. 朴相俊, 岡田真平, 堀内ふき他(2013). ヘルスコミュニケーション方法論を活用した地域における心の健康づくり事業～1年間の取り組みから見えてきたもの～. 自殺予防と危機介入 33(1): 34-45.
17. Kamioka H, Tsutani K, Park SJ, et al(2013). Effectiveness of rehabilitation based on recreational activities: A systematic review. World J Meta-Anal 1(1): 27-46.
18. Park SJ, Otaka Y, Mutoh Y, et al(2012). The effect of obstacle height and maximum step length (MSL) on obstacle crossing in healthy adults. 体力科学 61(1): 103-9.
19. Kamioka H, Tsutani K, Park SJ, et al(2012). A systematic review of randomized controlled trials on curative and health enhancement effects of forest therapy. Psychol Res Behav Manag 5: 85-95.
20. 岡田真平, 鎌田真光, 朴相俊他(2011). チェックリスト方式による身体活動環境評価の有用性—長野県東御市の行政職員による環境評価—. 運動疫学研究 13(2): 137-45.
21. Kamioka H, Tsutani K, Park SJ, et al(2011). A systematic review of non-randomized controlled trials on the curative effects of aquatic exercise. Int J Gen Med 4: 239-60.
22. 朴相俊, 朴眩泰, 上岡洋晴他(2008). 最大一步幅によるダイナミックな移動からスタティックな直立状態に至るまでの姿勢制御に関する研究;高齢者と若年者の比較から, 体力科学 57(4): 423-432.

所属学会

日本認知・行動療法学会、日本自殺予防学会、日本公衆衛生学会、日本産業ストレス学会、日本農村医学会、日本ストレス学会、日本健康支援学会、信州公衆衛生学会

主な社会 貢献活動

日本ソフトテニス研究会 運営委員
公益財団法人身体教育医学研究所 客員研究員
愛知学泉大学 地域社会デザイン総合研究所 客員研究員
(有)御菓子屋花岡 メンタルヘルス推進アドバイザー
日本認知・行動療法学会 認定行動療法士 (NO.113)
(東御市)子どもの元気な育ちを支えるネットワーク運営委員
ファイザーヘルス・リサーチワークショップ 幹事世話人(現. サポーター)

出前授業 テーマ

学校:メンタルヘルス、健康教育
地域:ゲートキーパー教育、ひきこもり学習、認知行動療法、メンタルヘルス
企業:セルフケア、ラインケア、ゲートキーパー教育、ストレスチェック後の職場環境改善ワークショップ

E-mail

s-park@saku.ac.jp